地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立アニメーション美術館
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 3
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 3　区市町村名　東京都三鷹市 町名番地以下　下連雀1－1－83
事業所等の延床面積	3,581.99 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 3
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 392	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 11	t
	総計(④=②+③)	④ 403	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 109.4	kg-CO_2/m²

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm³	40,007.9	45.00	1,800.4	0.014	91.1
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
	一般電気事業者からの買電 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	788,007.0	9.76	7,690.9	0.382	301.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計						⑭ 9,491.3		⑮ 392.1
その他	水道及び工業用水道	□	m³	16,497.0			0.200	3.3
	公共下水道	□	m³	17,499.0			0.450	7.9
合計								⑯ 11.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C130	エレベータ運転台数の制限
				C512	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)	%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		kg-CO_2/m²	CO_2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6　特記事項

◆2010年度記述内容　⇒　2013年度継続運用
①屋上緑化対策、②雨水利用、③クールチューブ導入　等により、竣工時より省エネ対策を考慮した運用を実施している。

◆2011年度記述内容　⇒　2012年夏期も継続実施（予定含む）
平成23年度夏期最大需要電力15%削減対策（実施期間：7月1日～9月30日）　1)エレベータの時間帯による台数制限　2)トイレおよび給湯室の給湯停止　3)トイレの便座ヒーター停止　4)中央監視によるデマンド監視5)東京電力に対し契約電力変更申請実施。(271kw→230kw変更)

◆2012年度報告追記　⇒　2012年度夏期節電対策（予定含む）
1)2011年11月冷却塔充填剤交換実施。(熱効率向上のため)　2)2012年度夏期に向け、熱源設備（冷温水発生機）オーバーホール予定。　3)館内一部照明器具LED化予定。⇒左記2)2012年5月実施済み、ならびに3)2012年5月館内一部LED照明器具導入実施済み

◆2013年度報告追記　⇒　2013年度夏期節電対策（予定含む）
1)2013年5月熱効率向上のため、冷温水発生器および氷蓄熱ユニット系統ポンプ更新実施　2)2013年8月太陽熱遮断の観点より、一部ガラスに遮熱フィルムを施行し、冷房効果向上させた。

その２　　　　　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう・三鷹市社会福祉事業団
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 2　区市町村名　東京都三鷹市 町名番地以下　牟礼6－12－30
事業所等の延床面積	3,848.76 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 2
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 226	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 388	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 11	t
	総計（④=②+③）	④ 399	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 100.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	83,176.8	45.00	3,743.0	0.014	189.4
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間（8時～22時）	□	kWh	311,240.0	9.97	3,103.1	0.382	118.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	209,997.0	9.28	1,948.8	0.382	80.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計							⑭ 8,794.8		⑮ 388.5
その他	水道及び工業用水道		□	m³	17,028.0			0.200	3.4
	公共下水道		□	m³	17,028.0			0.450	7.7
合計									⑯ 11.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年度の節電対策について（予定を含む）
・ロビー照明の消灯（採光利用）他、最低限必要な場所以外の消灯
・来客・相談時のロビー照明の部分消灯・昼食時の消灯（食事場所も消灯）
・エアコン使用時は、こまめにスイッチの入り切りを行う（温度設定ができないため）
・自動販売機のパネル照明の消灯・トイレ照明は使用時のみとし、点けっ放しにしない
・トイレ照明を人感センサー式に替える
・保温便座は夏期は必要とする（利用者）箇所以外はスイッチを切る

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市高齢者センター　けやき苑		
事業所番号	A 1 0 3 5 − 0 0 0 6		
事業所等の所在地	〒 1 8 1 − 0 0 1 6	区市町村名	東京都三鷹市
	町名番地以下	深大寺2−29−13	
事業所等の延床面積	1,343.70 m²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有		
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 3	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 101	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	④ 102	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 75.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	9,618.2	45.00	432.8	0.014	21.9
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時〜22時)	□	kWh	104,197.0	9.97	1,038.8	0.382	39.8
		夜間(22時〜翌日8時)	□	kWh	62,253.0	9.28	577.7	0.382	23.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	42,005.0	9.76	410.0	0.382	16.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計							⑭ 2,459.3		⑮ 101.5
その他	水道及び工業用水道		□	m³	2,665.0			0.200	0.5
	公共下水道		□	m³	2,665.0			0.450	1.2
合計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率(前年度比)	%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年度の節電対策について（予定を含む）
・空き室の消灯
・使用していないコンセントを抜く
・冷房の室温設定
・ゴーヤによるグリーンカーテンの実施
・よしず、すだれの活用
・打ち水
・地域住民向けのイベントの実施（地域の節電にも繋がり、熱中症や脱水を防ぐ）

その２　　　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市高齢者センターどんぐり山		
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 7		
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 5	区市町村名	東京都三鷹市
	町名番地以下	大沢4－8－8	
事業所等の延床面積	1,692.16 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有		
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 3	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 131	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総計(④=②+③)	④ 133	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		■	Nm^3	14,691.6	45.00	661.1	0.014	33.5
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	■	kWh	130,975.8	9.97	1,305.8	0.382	50.0
		夜間(22時～翌日8時)	■	kWh	126,935.0	9.28	1,178.0	0.382	48.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計							⑭ 3,144.9		⑮ 132.0
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	4,522.7			0.200	0.9
	公共下水道		■	m^3	4,522.7			0.450	2.0
合計									⑯ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年度の節電対策について
・職員会議やケア会議において、冷房温度28℃の設定を呼びかけ、徹底を図る。
・電気使用量代金の前半同月比を職場に掲示して節電意識の向上に繋げる。
（ガス、水道も同様に提示し、資源の節約に努めている。）
・夜間の会議設定を極力しないで、昼間に行う。
・エレベーターは職員使用禁止
・玄関自動ドアは、デイサービス送迎時以外は電源を切る。
・施設内蛍光灯を間引いて、一部抜いていることで必要最小限の照度にしている。

（日本工業規格A列4番）

その2　　　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市総合保健センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 4
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 4　区市町村名　東京都三鷹市 町名番地以下　新川6－35－28
事業所等の延床面積	1,431.44 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 4 2 9　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	④ 63	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 44.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	12,599.4	45.00	567.0	0.014	28.7
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電 昼間(8時～22時)	□	kWh	75,084.0	9.97	748.6	0.382	28.7
	一般電気事業者からの買電 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	14,911.0	9.28	138.4	0.382	5.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計						⑭ 1,453.9		⑮ 63.1
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	965.0			0.200	0.2
	公共下水道	□	m^3	965.0			0.450	0.4
合計								⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

区分		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備				A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C508	空室・不在時等の空調停止	C509	中央熱源機器等の季節設定実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E136	デマンドコントローラの設置
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)	%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

その２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市北野ハピネスセンター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 3　区市町村名　東京都三鷹市 町名番地以下　北野1－9－29
事業所等の延床面積	2,361.18 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 5 9　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総計（④=②+③）	④ 88	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 37.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	7,870.5	45.00	354.2	0.014	17.9
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電　昼間(8時～22時)	□	kWh	154,471.0	9.97	1,540.1	0.382	59.0
	一般電気事業者からの買電　夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	29,730.0	9.28	275.9	0.382	11.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計						⑭ 2,170.1		⑮ 88.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	1,505.0			0.200	0.3
	公共下水道	□	m^3	1,505.0			0.450	0.7
合計								⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年度の節電対策について

【目標】
1. 本事業所で昨年比約0.5%節電する。

【対策】
1. 事業所全体の照明の半分を間引き消灯する。
2. 空室・不在時の照明、空調を切る。
3. ウォシュレット式便座の電源をこまめに切る。
4. 必要時以外、エレベータの使用を控えるよう周知する。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	中央保育園		
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 2 1		
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 2	区市町村名	東京都三鷹市
	町名番地以下	上連雀6－11－16	
事業所等の延床面積	1,143.65 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有		
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）		
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 49	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総計（④=②+③）	④ 50	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 42.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	5,741.0	45.00	258.3	0.014	13.1
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	94,581.0	9.76	923.1	0.382	36.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計							⑭ 1,181.5		⑮ 49.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,815.0			0.200	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,815.0			0.450	1.3
合計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C508	空室・不在時等の空調停止	C502	採光を利用した消灯の実施
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E123	トップランナー機器の採用	E107	蛍光灯へ電子安定器採用（屋外）
				E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2		CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年度の節電対策について
園舎の壁面にゴーヤのグリーンカーテンを造り、熱さ対策とする。

対策メニュー追加事項
【その他対策】
C122 冷風と温風の混合損失の防止
C116 個人用端末の不用・離席時の停止
C126 事務用機器の台数見直し・集約化
C129 季節に応じた温度設定の見直し

（日本工業規格A列4番）

その２　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	東部水再生センター（東部ポンプ場含む）			
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 1 7			
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 4	区市町村名	東京都三鷹市	
	町名番地以下	新川1－1－1		
事業所等の延床面積	3,586.93 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	☐ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　☐ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　☐ 建物の一部（テナント）　☐ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所　☐ 商業施設（物販）　☐ 商業施設（飲食） ☐ 工場　☐ 複合施設　■ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	3 6 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店　☐ 加盟店	■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	2012年4月1日～　東部下水処理場→東部水再生センターへ名称変更			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 1,163	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,791	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総計（④=②+③）	④ 1,791	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 499.3	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）	☐	kg	937.5	50.80	47.6	0.016	2.8
	その他（A重油）	☐	L	333.0	39.10	13.0	0.019	0.9
	その他（軽油）	☐	L	629.0	37.70	23.7	0.019	1.6
	その他（）	☐		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電 昼間（8時～22時）	☐	kWh	2,368,450.0	9.97	23,613.4	0.382	904.7
	一般電気事業者からの買電 夜間（22時～翌日8時）	☐	kWh	2,307,992.0	9.28	21,418.2	0.382	881.7
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計						⑭ 45,116.0		⑮ 1,791.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m^3	1,104.0			0.200	0.2
	公共下水道	☐	m^3	1,104.0			0.450	0.5
合計								⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	対策名	その他対策 対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C901	4S（整理・整頓等）の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C904	運転方法ルール化と不使用時停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C908	受電力率の把握・記録
				C909	契約電力の変更の検討
	設備保守対策	D204	空調フィルターの清掃・点検	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
		D206	動力伝達部の定期的な点検	D205	換気フィルターの清掃・点検
		D209	空気系統のエア漏れ補修	D208	ストレーナやフィルターの清掃
				D216	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	E205	照明用人感センサの採用
		E203	高効率照明器具の採用（屋内）	E209	空調の冷温水配管の保温の実施
				E211	ポンプ・ファン等のインバータ制御
				E231	インバータ制御の導入

実績年度の目標達成の状況	☐ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

①脱水機設備、平日2台運転から1台運転に変更（不足分は土日に運転）
②エアレーションポンプの回転数制御
③空調設備及び照明機器の運転時間見直し

対策メニュー追加事項
【その他対策】
C112　季節に応じた外気導入量の適正化
C128　ポンプ・ファンの流量、圧力調整

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	井の頭ポンプ場		
事業所番号	A 1 0 3 5 − 0 0 1 0		
事業所等の所在地	〒 1 8 1 − 0 0 0 1	区市町村名	東京都三鷹市
	町名番地以下	井の頭1−4−39	
事業所等の延床面積	1,000.06 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有		
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）		
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食）　□ 工場　□ 複合施設　■ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	3 6 3 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成25年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 101	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 154	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総計（④=②+③）	④ 154	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 153.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	63.8	45.00	2.9	0.014	0.1
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電	昼間（8時〜22時）	□	kWh	252,110.0	9.97	2,513.5	0.382	96.3
		夜間（22時〜翌日8時）	□	kWh	152,986.0	9.28	1,419.7	0.382	58.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.382	⑬ 0.0
合計							⑭ 3,936.1		⑮ 154.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	631.0			0.200	0.1
	公共下水道		□	m^3	631.0			0.450	0.3
合計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C901	4S（整理・整頓等）の実施	C908	受電力率の把握・記録
		C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C909	契約電力の変更の検討
				C929	ポンプの送水圧等の把握
				C930	ポンプの送水圧力・流量の適正化
				C927	その他設備の不使用時の停止
				C928	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D204	空調フィルターの清掃・点検	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
				D205	換気フィルターの清掃・点検
				D215	水道メータ等で漏水の有無の点検
				D216	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	E231	インバータ制御の導入

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

①水中攪拌機運転時間削減
②自動除塵機運転回数削減
③夜間電力を利用してのポンプ井水位調整
④空調設備及び照明機器の使用頻度見直し

（日本工業規格A列4番）